

「最近の子どもは、昔の子どもと比べて難しい」「子どもたちの様子が大人っぽい」などの声を耳にしたり、口にしたりするとはありませんか。確かに時の流れとともに、時代が変わり、生活習慣が大きく変わり、遊びの内容や時間の使い方も変わりました。

また、危機管理能力については、昔よりも高い能力を必要とされていますが、子どもたちを取り巻く環境が、大きく変わってきたことは事実です。

では、本当に子どもたちは大きく変わってしまったのでしょうか。

丁度十年前、子どもたちと地域の街探検をして歩いていました。歩き疲れている子どもたちがふとつぶやく「きれいだね」という言葉。道ばたに咲いている小さな花に向けられていた言葉でした。私は、心がとても温かくなったことを覚えています。

あれから十年が経ち、その時と同じ歳の子どもたちと出会いました。すると、「きれいだね」「わあ、きれいだよ」十年前と同じ言葉を聞くことができたのです。新緑の木々や秋の色づいた葉が風に流されているのを見て、「きれいだね」とつぶやき、プラネタリウムの星空が見えた瞬間に「きれいだね」と歓声をあげていた子どもたちです。

十年前の子どもたちと変わらない素直な気持ちを表現する子どもたちが、今も変わらずに目の前にいます。子どもの根本にある何かは今も昔も変わっていないのではないかと感じます。

確かに美しいものを見て、美しいと言う事は当たり前のことかもしれない。『美しいものを美しいと思えるのは、あなたの心が美しいから』という言葉がどこかのお店の壁に飾られているのを見た記憶があります。子どもたちが、「きれいだね」と言葉にできるのは、紛れもなく心がきれいであるからです。そして、きれいである自分を自信を持って表現できるのは、自分を認めてもらえる環境がそこに存在するからなのです。

子どもたちは、今も昔も変わらずに美しい心の持ち主なのです。その心を素直に表現できる環境を整え、認めてあげることが、私たち大人の役割なのではないかと、きらきら輝く子どもの瞳を見て、考えさせられました。

子どもが変わったと言う前に、時間追われ心にゆとりのない大人が、価値観を広く持ち、自分自身の美しい心と呼び起こす事が大切なのではないのでしょうか。

連載・青少年健全育成シリーズ 第320回

「美しい心の持ち主」

青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,300部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況は、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄